

令和7年度 信学会東堀こども園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

子どもたちの笑顔があふれるこども園

～子どもたちが「考え、集い、より良い生活・遊びをつくりだせる」園を目指して～

1. 本年度の大切にしたい活動

1. 思いやりをもって「ひと・もの・こと」と関わり、友と伝え合う活動
2. よく考え豊かに創造して表現し、自分らしさを発揮する活動
3. 生活と関わらせ、野菜などを育てていただく食育の活動

2. 自己評価

A…十分達成されている B…達成されている C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

3. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・新しい日課や園内環境の研究等へのチャレンジの姿が素晴らしい。安全面や危機管理等の対策をしっかりし、安全で楽しい園を期待している。
- ・保護者アンケート、職員自己評価等の公開により、情報の透明性があり、園の信頼感に繋がると思う。
- ・教育課程実施において、教職員は共通理解をしているという項目のCが少数あることについて。定期的に子どもの変化や姿を共有する場を設定し、課題があれば改善策を考え実行を繰り返すことにより共通理解を深められると、更に良い園になっていくと思った。
- ・地域との活動がもう少しできると良いと思った。小学校との交流も計画的に行っていききたい。

4. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・新しい取り組みについて、スタートを切ることができ、子ども達の姿や保護者の方からのお話で成果と課題が見えてきている。来年度も今年度の取り組みをベースに丁寧に対応していきたい。
- ・子どもたちを中心に置いた園運営のために、職員との対話、コミュニケーションの場を増やし、子ども理解について日常的に話題にできる職員集団にしていきたい。
- ・地域や小学校との関わりについてのご意見をいただき、次年度は意識的に関わりを増やしていきたいと思う。